

(別添7)

事業所名 グループホームしらゆり竹田

2 目標達成計画

作成日: 令和2年5月20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	24	利用者のこれまでの暮らしや生活環境などがフェイスシートに十分な記録がなされておらず、生活歴に基づいた根拠のある支援が実施できていない。	利用者ひとり一人の生活歴を職員みんなが把握することによって、利用者の望む自分らしい生活の実現につなげる。	入居時に利用者の生活歴に関する情報を可能な限り多く収集し、職員の誰が見ても分かりやすいようにフェイスシートに記録する。また、日々の関わりの中から得た新たな情報も随時加筆していき、職員全員で情報共有を図る。	6ヶ月
2	2	地域との交流やつながりが途切れないように支援を行っているが、災害時や緊急時の近隣住民の協力体制が確立されておらず、事業所単独の力では災害時対応に限界があるものと思われる。	災害時や緊急時には避難した利用者の見守りや保護などをしてもらえるよう、日頃から地域住民との信頼関係を築きあげる。	近隣住民を交えた消防訓練や避難訓練を実施する。また、交流を通じて利用者の身体状況や認知症についての理解を深めてもらう。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。